

栗津清亮 （あきつひさあき） 保険學者、法學博士。明治四年四月二十日京都生れ、  
 昭和二十四年二月（二十一）自殺（一八七二—一九五九）。舊名淺田徳次郎。明治  
 二十七年帝國大學法科大學卒。大學院に進み保険學を専攻。農商務省  
 嘱托を経て有隣生命・東邦火災・日本傷害火災海上等の重役社長。草  
 創期の保険學會を主宰。『栗津博士論集』十二巻（有り）。  
 他に、監修 『法律經濟新辭典』（實文館編輯所編、大正元年九月十八  
 日實文館）、『謡曲物語』（昭和二十四年十一月十日能樂書林）等。

